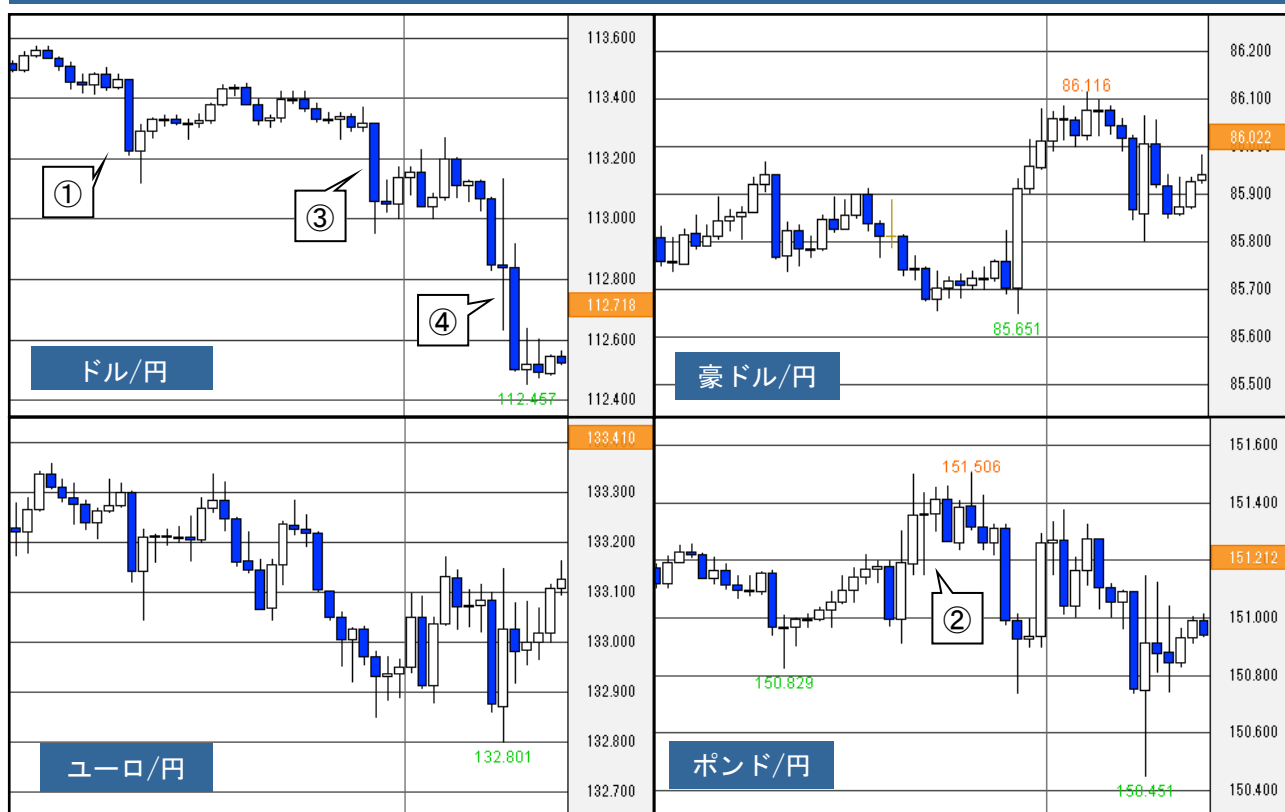


12月14日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## FOMC後のドル安進行に意外感

### 13日(水)の為替相場



期間：13日(水)午前7時10分～14日(木)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 米アラバマ州の上院補欠選挙(現地13日に投開票)で民主党候補が勝利する見込みと各メディアが一斉に報じた。米上院共和党の議席が51(定数100)に減る事で、重要法案の可決がより困難になるとの見方から、一時ドル売りに傾いた。
- ② 英11月失業者数は0.59万人増と10月(0.65万人増)から増加幅がやや縮小。英11月失業率は10月から横ばいの2.3%であった。また8-10月の週平均賃金は前年比+2.5%と予想通りの伸びとなった。
- ③ 米11月消費者物価指数は前月比+0.4%、前年比+2.2%と、いずれも予想通りに10月(+0.1%、+2.0%)から加速した。しかし、変動が大きい食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+1.7%と、予想(+1.8%)に反して10月(+1.8%)から減速した。これを受けて、ドル/円は一時113円台を割り込んだ。
- ④ 米連邦公開市場委員会(FOMC)は予想通りに政策金利であるFFレートを1.25-1.50%に引上げた。声明では「労働市場が引き続き強化され、経済活動が堅実な上昇を続けていることを示している」として景気判断を引上げ、「インフレは短期的には引き続き2%をやや下回るが、中期的には目標の2%付近で安定すると予測」との見解を維持した。また、この決定にはエバンズ・シカゴ連銀総裁とカシュカリ・ミネアポリス連銀総裁が反対した事も明らかになった。同時に発表した経済見通しでは来年の成長率と失業率の予測が引上げられた一方、インフレ率予測は据え置かれた。政策金利見通しでは、9月時点の予測が概ね維持され、来年も0.25%の利上げが3回行われるとの見通しが示された。0.25%利上げは完全に「織り込み済み」であった事や利上げに反対票が投じられた事などから、発表後はドル売りが加速した。

13日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
22758.07 ▼108.10	6021.829 △8.626	3303.037 △22.224	7496.51 ▼3.90	13125.64 ▼57.89
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24585.43 △80.63	0.0500% △0.0030	2.523% △0.004	1.216% ▼0.007	0.314% ±0.000
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.7743% ▼0.0529	2.3422% ▼0.0590	56.60 ▼0.54	1248.60 △6.90	

外為注文情報(ドル/円)

2017/12/14 08:20 現在 [ 112.72-112.72 ]		
Sell	Rate	Buy
■	113.20	□
■	113.15	□
■	113.10	□
■	113.05	□
■	113.00	□
■	112.95	□□
■	112.90	□
■	112.85	□
■	112.80	□
■	112.75	□□□
■	112.70	□□
■	112.65	□
■	112.60	□
■	112.55	□
■	112.50	□□
■	112.45	□□
■	112.40	□□□□
■	112.35	□□□
■	112.30	□□□□□□
■	112.25	□□
■	112.20	□□□

本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.300-113.400	132.700-134.200	85.600-86.600	150.400-152.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は、米連邦公開市場委員会(FOMC)の利上げ発表後に112円台半ばまで反落した。米11月消費者物価指数の伸びが弱く売り優位の展開となっていたドルは、2人のFOMCメンバーが利上げに反対していた事などから下げが加速した。もっとも、FOMCは来年のインフレ見通しと利上げ見通し(0.25%の利上げを3回)を維持しており、発表後のドル安加速には意外感もある。利上げに2人の反対が出た事はやや驚きではあったが、カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁とエバンズ・シカゴ連銀総裁は、ともに来年には投票権を失う輪番メンバーだ。従来から追加利上げに消極的な発言を繰り返していた事も良く知られている。昨日のドル/円の下げは短期筋の手仕舞い売りが主導した可能性が高いと見ており、尾を引く事はないだろう。週足一目均衡表の雲(執筆時112.472円)や52週移動平均線(執筆時112.236円)などのサポートが期待できる112円台では中長期投資家による一定の買い意欲が見られそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
12/14(木)	09:30	◎	(豪) 11月就業者数	+0.37万人	+1.90万人
	09:30	◎	(豪) 11月失業率	5.4%	5.4%
	11:00	○	(中国) 11月鉱工業生産(前年比)	+6.2%	+6.1%
	17:30	○	(独) 12月製造業PMI・速報	62.5	62.0
	18:00	○	(ユーロ圏) 12月製造業PMI・速報	60.1	59.7
	18:30	○	(英) 11月小売売上高(自動車燃料含む:前月比)	+0.3%	+0.4%
	21:00	◎	(英) BOE政策金利発表	0.50%	---
	21:00	◎	(英) BOE議事録	---	---
	21:45	◎	(ユーロ圏) ECB金融政策発表	---	---
	22:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	23.6万件	23.6万件
	22:30	◎	(米) 11月小売売上高(前月比)	+0.2%	+0.3%
	22:30	◎	(米) 11月小売売上高(前月比:除自動車)	+0.1%	+0.6%
	22:30	◎	(ユーロ圏) ドラギECB総裁、会見	---	---

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様が生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご承願いたします。